

2023（令和5）年度 犬山国際交流協会通常総会議事録

日時 令和5年6月10日（土）10：00～11：15

場所 犬山市民交流センター 2階 201会議室

出席者 45名

（内訳）正会員：31名

賛助会員：4名

顧問・来賓：3名（内、顧問2名）

協会関係者（非会員）：2名

市役所関係者：5名

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 顧問・来賓挨拶

① 愛知県議会議員 中村 貴文（顧問）

② 犬山市長 原 欣伸（顧問）

③ 犬山市議会議長 柴田 浩行

4. 総会成立宣言

正会員 331名のうち 31名出席、委任状 128名で計 159名の出席・委任を得ており、総会の成立宣言がされた。

5. 議長選出

会則第27条に基づき、社本一三氏が選出される。

6. 議事録署名人選任

会則第31条第2項に基づき、佐竹康子氏、吉田正明氏が選任される。

7. 議事

(1) 議案第1号 2022（令和4）年度犬山国際交流協会事業報告（案）について事務局から資料により説明を行った。

(2) 議案第2号 2022（令和4）年度犬山国際交流協会収支決算（案）について事務局から資料により説明を行った。

尚、2022（令和4）年度在住外国人支援基金収支報告に関して、収入の部、貸付金返金の項目、備考欄、「貸倒損失にて処理」について、事務局より追加説明があった。ある1人の方に平成25年度に行った8万円の貸し付け金について毎年返済があったが、平成30年度を最後に滞っていた。その後、市多文化共生推進員より本人が亡くなったという情報を得た。同じ住所宛にその後も請求書を発行したが郵便物は戻って来なかったため、家族には届いて

いると推測される。また、今年の1月31日に自宅を訪問したが、家族は不在だった。

本案件につき、当時の貸借時に連帯保証人や弁済代理人の設定が存在しないため、本人死亡により「貸倒損失」として処理を行うことが理事会にて審議の上決定した。

(3) 監査報告

令和4年度犬山国際交流協会収支決算について、堀場監事から、適正かつ正確に処理されていることを認めたとの監査報告があった。

<質疑応答>

・ 特になし

⇒ (議長) 議案第1号、第2号について、表決を行う。

賛成多数により、2022(令和4)年度事業報告(案)及び、収支決算(案)ともに、原案通り承認された。

(4) 議案第3号 2023(令和5)年度犬山国際交流協会事業計画(案)について事務局から資料により説明を行った。

(5) 議案第4号 2023(令和5)年度犬山国際交流協会予算(案)について事務局から資料により説明を行った。

尚、2023(令和5)年度在住外国人支援基金予算(案)の説明の際、「在住外国人支援基金」について、事務局より次の説明があった。

当基金は、2008年のリーマンショック後、職を失って生活に困窮する外国人が増えたという時代背景の基に誕生しており、当時は食料等の物品の供与、貸付金が行われたようである。ただし、規約はしっかりと整っておらず、活きた基金としては使いにくい状況にあった。

昨年度、「在住外国人支援基金」について理事会での審議の上、新たな規約が定まり、本基金は、犬山市在住外国人とその家族を対象に支援を目的とし、「事業による支援」を行うことになった。

「事業による支援」とすることになった経緯としては、調査の結果、物品の供与、現金の貸し付けにおいては、現在、犬山市社会福祉協議会において、「フードバンク」と提携した食糧支援が行われており、また、生活困窮者への支援基金、生活福祉資金の貸付事業が行われていることがわかった。コロナ時には、「緊急小口資金」や「総合支援資金」を外国人の方も多く利用していた。愛知県の留学生においても、緊急時に支援を受けられる援助金もあることがわかった。よって、物品、金銭の貸付に関しては他団体に任せて、当協会では「事業による支援」を行うこととなった。具体的な支援としては、通訳等を含む生活支援、在住外国人との交流支援、災害等の緊急支援などがあげられる。

理事会での審議の結果、本年度は「通訳コーディネート」事業による支援を行うことに決定し、「在住外国人支援基金」から予算を計上し実施を予定している。

<質疑応答>

・特になし

⇒（議長）議案第3号、4号について、表決を行う。

賛成多数により、2023（令和5）年度事業計画（案）及び、予算（案）ともに原案通り承認された。

8. その他

<質疑応答>

・ステファニーさん、ジャクリーンさん、カタリナさんをはじめとして、これまで、国際交流員が活躍してくれたが、財政上及びコロナの関係で、現在、国際交流員が空席になっている。犬山国際交流協会にとっても国際交流員の存在が大きく、いろいろな事業を行っていく上で力になっている。犬山国際交流協会の総会で、過去にドイツに派遣された中学生による発表があり、感動した。犬山国際交流協会として、今後の新たな事業展開を考えていく必要がある。市議会でも是非議論して欲しい。国際交流にはお金もかかるし、民間だけで行うのは難しい。折角国際交流の礎が築かれたので、何か新しい方向性を目指して欲しい。

⇒（会長）いろいろなことを検討していく必要があり課題も多いが、ご意見として承っておきます。

9. 閉会

以上

通常総会終了後、『交流会』を実施した。

以上、令和5年度犬山国際交流協会通常総会議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、会長、議長及び議事録署名人が署名する。

令和5年 7月 7日

会 長 奥村英俊

議 長 社本一三

議事録署名人 佐竹康子

議事録署名人 吉田正明